

## 製造業

- ◇**パン**…消費税も8%になり非常に見通しの悪い状況になっている。大変な時期ではあるが、業界継続のため組合員一丸となって頑張っていきたい。
- ◇**酒**…当県の課税移出数量は、前年比95.1%と全国平均を下回った。2月も前年比91.8%と落ちこんでいる。今年に入り、全国中小メーカーは値上げを前にしての仮需要により、大手メーカー（12月までに値上げ済）を除き大幅に伸びており、当県の値上げの対応の遅れが懸念されている。また、平成26年の全国清酒輸出は、前年比117.6%で106億円と100億円の大台に乗せた。当県の焼酎乙類については、まだ持ち直しが感じられず、2月は前年比98.9%に留まった。国際空港免税エリアにおける國酒キャンペーンは、平成26年4月～5月末まで現在地（免税エリア）での試飲販売が行われる。消費税の増税分について、当業界として「消費税転嫁カルテル」を導入する。
- ◇**納豆**…25年度総務省家計調査において、水戸市が7年ぶりに1位に返り咲いた。これは、前年度に県の支援事業を活用して、様々な販促活動を行った成果と思われる。この結果は、県全体の納豆の消費が拡大したものと推測される。経営状況は、円安による原材料や光熱費、その他あらゆるものが上昇しているが、納豆価格の据え置きは、業界を益々厳しくする一方である。
- ◇**菓子**…観梅客に対して土産品の売上は伸びたが、一時ほどではなかった。これは3年前からの風評被害が尾を引いていることと客足の減少によるものである。また、店頭では、ひなまつりを中心とした和洋菓子の売上がまずまずで景況は強気配であった。
- ◇**繊維製品(袋物)**…消費税増税前の駆け込み需要が多く、生産量が増え、売上は増加。しかし、値札関係が間に合わず、4月にずれ込んだ商品も多く、全体的にかなり立て込んでいた様子。
- ◇**繊維製品(縫製)**…従来の年度末需要に加えて、消費税の駆け込み需要で受注は大幅にアップしたが、残業も増えたため、企業の収益面ではあまり寄与したとは言えない状況。4月以降は反動落ちが予想される。
- ◇**木材**…消費税率の引き上げの駆け込み需要が一巡し、プレカットへの納材が減少した。昨年末より製材不足等の要因から価格も値上がりとなっていたが、ここに来て急激な値下がりとなっている。需要の後退により先行き不透明な状況。
- ◇**プレカット**…3月までは消費税前ということもあり、目標をほぼ達成できた。4月も建築資材の遅れなどである程度加工予定は入っているが、どのようになるか予測がつかない。木材製品の価格は値下げに転じている。
- ◇**段ボール**…3月は消費税のからみから1年の中で1番忙しい時期となった。注文の前倒しなので、4月以降の注文が少なくなりそう。3月に入り材料の値上がりの

話がはじめてきたので、4月以降の収益が心配である。

- ◇**総合印刷**…用紙・インキ等の値上げ、受注競争の激化など業界を取り巻く環境は厳しさを増している。後継者不足から、3月末で廃業した業者もいる。雇用員数は、引き続き減少傾向。
- ◇**プラスチック製品**…(株)パレオ関連からの受注はほぼゼロの事業所も出始め、状況はより悪化している。
- ◇**焼物**…これから春の行楽シーズンを迎え、笠間が一番輝く時期です。一人でも多くのお客様をおもてなしの心でお待ちしたい。
- ◇**鍍金**…前月の売上高は、前年比5～10%程度の増加だった。家電、自動車部品等は低調。建築・住宅関連の業種は、好調である。業界全体としては、前年に比べれば良い。4月の消費税アップの影響があるかどうか注目している状況である。金属材料(銅、ニッケル、亜鉛等)、工業薬品とも価格は大きく変わらない。貴金属関係の材料については価格が高止まりしている。
- ◇**重電**…現在、重電機械関係の仕事量はまずまずであるが親企業の統合による影響がどのように出てくるのか。不透明感が強く慎重な見方をしている。
- ◇**電化機器**…当月の生産高は前年同月比△2.7%の925百万円、先月より73百万円増加(8.6%)しているが、消費増税の影響を受けると思われる新年度に入っの生産高については厳しい見込み。
- ◇**自動車部品**…過去3年間を比較しても、最低水準であった。構造的な問題なので、改善の兆しは感じられない。
- ◇**昇降機**…4月1日付けで、国内昇降機事業が(株)日立製作所都市開発システム社より、(株)日立ビルシステムに移管・統合される。
- ◇**工業団地(農機部品)**…組合員の売上状況は、前年同月比で組合員7社中4社が売上増、3社が売上減となった。(全体増減率100%)新利根工業団地全体としての平成25年度は、対前年同月比売上は4月が若干の減少であった以外1ヶ月連続で増加となった。団地全体の売上としても、リーマンショック直前の年間最高額を抜いて120億円/年を超すことが出来た恵まれた年となった。

## 非製造業

- ◇**セメント卸**…袋セメントの出荷袋数は前年同月比9%の増加。年度末で公共工事が増え、好調な出荷となった。
- ◇**水産卸**…精算所取扱高は前年同月比8.76%の増。消費税を控えスーパー関係の売上が増加した。
- ◇**食品卸売**…先月に引き続き、野菜・果実ともに単価高で推移した。野菜の高値に影響を受け、果実まで消費者の手が伸びない状況。消費税増税で、この状況が益々顕著になるのではないかとと思われる。
- ◇**県南地区卸売**…4月1日から消費税により、駆け込

み仕入により在庫の増加となった。

- ◇**県北地区共同店舗**…消費税増税前の駆け込み需要で消費者の賢い選択として高額商品が良く売れ、久々の昨対売上クリアし、面目一新。
- ◇**県央地区共同店舗**…増税前の3月は売上昨対比を確保することができたが、2月・3月で合算するとほぼ昨年並みであった。
- ◇**県南地区共同店舗**…消費税増税前の駆け込み需要で業種によって前年を上回る店舗が見られた。客単価も20%以上上昇し、増税前の需要がうかがえた。しかし、全体では売上が減少。業種により差が生じた。
- ◇**家電**…消費税増税に伴い特に白物家電(炊飯器、レンジ、洗濯機、エアコン)を中心に特需があった。サンプル(13店)の単月は、仕入ベースで前年比239%と大幅にアップとなった。4月以降、若干のダウンが予想される。しかし、高いの心、基本営業活動を基に夏商戦に更に期待したい。
- ◇**中古自動車**…オークションの出品台数は減少したが、対前年同月比で成約率が8.3%、手数料は16.3%上がった。
- ◇**石油**…原油価格が高値で推移しており円安が続いているため、ガソリンの販売価格は前年同月比で4円上昇しているが、仕入価格の上昇分を完全に転嫁できていない。また、4月1日からの消費税増税を前に仮需要はあったが、収益状況を改善させるまでには至っていない。
- ◇**ホテル旅館**…水戸、つくばは観梅客で賑わった。ビジネス系も工事関係者の宿泊が例年より多かった。昨年に比べ、海岸沿いの施設も鯨鯨目的の宿泊客が増えたとのこと。平日の入れ込み客数は、震災前までに戻ってこない。
- ◇**自動車整備**…組合員事業場の車輛入庫状況指数である継続検査台数(持込検査)の対前年同月比は、普通車は101.9%、軽自動車は103.9%とともに微増。
- ◇**総合建設**…消費税関連及び予算執行上の制限により年度繰越工事が少なかったため手持ち工事が大幅に減少した。行政の早期発注も望めない状況である。数少ない発注物件も各社受注のための激しい競争が確実

と思われる。利益を確保できない状況である。

- ◇**交通安全施設**…3ヶ月前に比べると3月の売上は約1.6倍。消費税、年度末と重なり増加になると予想していたが、4月以降は反動が懸念される。
- ◇**電気工事**…組合員数は、3月31日現在で994社となった。組合員数減少の主な理由は、後継者がいない、高齢のため仕事が続けられないなど。青年部会も約10%が脱退。東京電力の影響は大きく、住宅電気工事センターの調査業務が厳しい状況である。
- ◇**県北地区運輸**…主要顧客の出荷物量は、二極化となり総じて前年度より減少している。また、燃料価格も前年度より高止まりとなっており、収益は依然厳しい状況になっている。
- ◇**県央地区運輸**…3月の決算期、新生活用品と増税前の駆け込みがあったため、全体的に忙しかった。車不足と人手不足が目立つ。軽油の値上がりがあり、利益は薄い。

H26.3月の業界天気図

業種	指数	売上		収益状況	
		前年同月比		前年同月比	
食料品業		▲ 33.3		▲ 33.3	
その他業		5.0		▲ 25.0	
卸売業		75.0		25.0	
小売業(商店街を含む)		18.2		9.1	
サービス業		50.0		0.0	
建設業		0.0		0.0	
運輸業		0.0		0.0	
全体		10.2		▲ 10.2	

【天気図の見方】県内情報連絡員から毎月いただいている情報連絡票の景況項目について、「増加」(又は、「好転」)業種割合から「減少」(又は「悪化」)業種割合を差し引いた値(D.I値)をもとに作成しています。その基準は、下図のとおりです。

30以上	10~30未満	10未満-▲10	▲10超~▲30未満	▲30以上

※表の中の数値はD.I値



エコアクション21は、環境省が策定した中小企業にも取組みやすい環境経営システムです。

特定非営利活動法人『環境NPOいばらき』とは、

エコアクション21

「エコアクション21審査人」の茨城県内の有志で法人登録したスペシャリスト集団です。

事業等

1. エコアクション21の認証取得支援活動、並びにエコアクション21の普及活動
2. エコアクション21審査人として、認証取得を希望する企業の相談、並びにコンサルティング活動
3. エコアクション21審査人の育成教育
  - ※「エコアクション21地域事務局いばらき(茨城県中小企業団体中央会)」の運営委員会の中に会員が委嘱され、エコアクション21の普及に努めています。

特定非営利活動法人環境NPOいばらき

\*連絡先:所在地:〒310-0836 水戸市元吉田町2649-21 代表者:飛田 秀幸  
 TEL:029-247-4064 FAX:029-248-2958 / Email:BYA05445@nifty.com  
 HP:http://kankyou-npo-ibaraki.com/ 何なりとお気軽にご一報ください。お待ちしております。